

政策	53 スポーツの推進						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	身近にスポーツを楽しむコミュニティの活動の場としてスポーツ施設や運動広場などの充実が図られています。 各種大会・教室の開催などスポーツを楽しむ機会の充実が図られています。						
成果指標	体育館・グラウンド等のスポーツ施設への市民満足度...2022年度で90%（現状値74%） スポーツ大会・教室への市民満足度...2022年度で95%（現状値88.2%）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [ % ]	予定	77.50	81.00	84.00	87.00	90.00
		実績	89.97	84.27			
	成果指標2 [ % ]	予定	90.00	92.00	93.00	94.00	95.00
		実績	93.30	89.47			
	成果指標3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	283,277	354,615	346,245	0	0	
	実績	233,833	354,615	346,245	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針を進めるためには、スポーツ施設の整備・充実やスポーツを楽しむ機会の充実が必要であり、本基本施策の目標達成のための貢献度は高い。					
	達成状況	台風19号や新型コロナによる大会中止等により参加者数・施設利用者数が減少したため、市民満足度についても前年度より低下、大会等への満足度が目標値に達しなかった。					
	課題	アンケートの意見には施設整備などについて厳しい意見もある。市民のご意見を反映し利用しやすい施設づくりが必要である。					
	取組方針	スポーツマスタープラン及び令和2年度に策定するスポーツ施設ストック適正化計画により計画的な維持管理・魅力あふれるイベントの実施に取り組み市民満足度を高めたい。					
外部評価	令和2年度にスポーツ施設適正化計画が作成される予定であるが、施設の老朽化が進んでいる中、修繕の中長期計画が作成されていないのは遅い。 また、市町合併により同様な施設が多数あり、老朽化していることから、施設の統合・集約も必要である。 イベントや講座等は市民の健康維持・増進に寄与することから、計画的・積極的に推進していただきたい。実施にあたっては健康増進分野との連携を検討していただきたい。 コロナウイルス感染症の影響により、今年度の講座等の実施については難しいと思われるが、健康増進の側面もあることから、運動の機会を提供できるよう様々な方法を検討願います。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	5302	生涯スポーツの推進				84,369	82
	5301	スポーツ環境の充実				206,679	80

## 基本施策評価表 補表

施策	53 スポーツの推進		
区分	妥当性	妥当	生涯スポーツの推進には、スポーツ協会及び各種スポーツ団体との連携が必要であり、各種事象の実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施による効果を検証し、コストの検証を行い適正な執行を務める必要がある。
	受益者負担	適正	時代背景やニーズなども検証しながら受益者負担の必要性、負担すべき金額を設定してまいりたい。
	上位貢献度	有効	「大会参加者数」「施設利用者数」の向上のためには、貢献度は高く有効である。
	類似事業の有無	無	他に類する事業で代替は困難である。
	成果向上の余地	有	各種スポーツ団体などの活動に必要な情報提供を充実させるとともに団体間の交流を促進することで、活動の活性化や組織の育成支援・ネットワーク化を図ることにより成果向上の余地がある。
内部評価	貢献度	基本方針を実現するために、市民が利用しやすい施設づくりや市民がスポーツ活動に親しむためのきっかけづくりや実践する場の確保に向けて、身近なスポーツ大会・イベントなどの充実を図る必要があり各単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	毎年度施設利用者及びイベント参加者にアンケートを実施している。その結果、「スポーツ大会・教室への参加者の満足度」及び「体育館及びグラウンド等の施設利用者の満足度」について、ともに満足度が低下し、大会・教室への満足度は目標値を超えることができなかった。主な原因は台風19号及び新型コロナウイルスの影響により施設利用ができない、イベントに参加できないなどスポーツ愛好者に不満が生じたため満足度が低下したと思われる。	
	課題	アンケートの自由意見には施設の老朽化等に対して厳しい意見もあることから、公共施設の長寿命化計画を策定し、計画的な維持補修を行っていく必要がある。 また、既存のイベント・大会の内容の充実を図り市民の満足度の向上のための工夫が必要である。	
	取組方針	令和元年度に栃木市スポーツマスタープランの内容に東京2020オリンピックパラリンピック、2022年いちご一会とちぎ国体などの最新情報を加筆し、本市スポーツ推進の指針の改訂版を策定した。また、令和2年度にスポーツ施設ストック適正化計画の策定を進めている。こうした指針・計画策定により将来に向けた計画的維持修繕と魅力あふれるイベントに取り組むことで市民満足度を高めたい。 市民アンケートについては今後も継続し、市民が快適にスポーツを楽しめるよう、施設の適切な維持補修を行うほか、イベント・大会についてはより多くの方が参加できるよう工夫と周知に努めていきたい。	